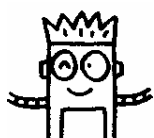


## ペリーは、どうやって日本人と話したの



日本側のオランダ語通訳つうやくと、アメリカ側のオランダ語通訳の二人を通して、日本人と話したんだよ。

### オランダ語を話せる通訳が、両方にいた

ペリーの艦隊かんたいが、浦賀うらがの沖合おきあにいかりを下ろすと、まもなく、与力よりきの中島三郎なかじまさぶろう助すけと、オランダ通詞つうじ（オランダ語通訳）の堀達之助ほりたつのすけが乗った、浦賀奉行所うらがぶぎょうしょの船が、近づいてきました。ペリーが乗っているサスケハナ号のそばまで来ると、堀が下から大声で、「自分はオランダ語が話せる」と、英語でよびかけました。そこで、ペリー側は、オランダ語通訳のポートマンを出して、堀とオランダ語で会話をさせた後、堀・中島の二人を乗船させました。このときに行われた話し合い以後、日本側とペリー側の会話は、日本語 オランダ語 英語、または、英語 オランダ語 日本語という順序で訳されながら、行われました。

### 英語の文書を訳すときは、漢文も利用された

その6日後くりはまに久里浜で、ペリーは日本側代表の浦賀奉行に、アメリカ大統領の手紙をわたしました。その手紙には、ペリーに同行した中国語通訳のウィリアムスによって、漢文（中国語の文）に訳されたものも、つけられていました。幕府ばくふでは、その漢文を日本語に訳したものをもとにして、いろいろな人の意見を集めました。翌年よくねんに結ばれた日米和親条約にちべいわしんじょうやくには、日本語・英語・オランダ語・漢文の4種類の文書が、用意されたのです。



英語の通訳が必要になった幕府は、アメリカ帰りのジョン万次郎を召しかかえたりしたんだよ。